

# ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：26項目

問題あり：4件

要確認：8件

問題なし：14件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 大串正樹の漢字表記

- 記載内容：「大串正樹」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：衆議院議員公式サイト、首相官邸副大臣名簿で確認

#### 読み仮名

- 記載内容：「おおぐし まさき」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸副大臣名簿で「おおぐし まさき」と明記

#### 所属政党

- 記載内容：「自由民主党」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：自民党公式サイト議員紹介ページで確認

#### 現在の役職

- 記載内容：「経済産業副大臣兼内閣府副大臣」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸「第2次石破内閣副大臣名簿」で確認

#### 選挙区

- 記載内容：「兵庫6区から立候補、比例近畿ブロック」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：本人公式サイトで「兵庫県第六選挙区」と確認

#### 石破茂総理大臣就任

- 記載内容：「石破首相」として言及
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2024年9月27日の自民党総裁選で石破茂氏が当選、10月1日に第102代内閣総理大臣就任

## 2. 数値情報

### 生年月日・年齢

- 記載内容：「1966年生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸副大臣名簿で「昭和41年1月20日」と確認

### 初当選年

- 記載内容：「2012年の初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、本人公式サイトで「2012年第46回衆議院総選挙」で初当選と確認

### 当選回数

- 記載内容：「通算5回当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「衆議院議員（5期）」、首相官邸副大臣名簿の経歴で確認

### 在職年数

- 記載内容：「在職約13年」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2012年初当選から2025年で13年

### レポート作成年数

- 記載内容：「2015年から2025年までの大串議員の政治活動」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：2012年初当選のため、実際の政治活動は2012年からスタート
- 根拠・出典：Wikipedia、本人公式サイト of 経歴

### SNSフォロワー数

- 記載内容：「Twitterフォロワー：500人 → 6,755人」「YouTube登録者：0人 → 77人」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的なフォロワー数は公開情報からは確認できず、記事作成時点での実数が不明

## 3. その他の重要な事実関係

### 学歴

- 記載内容：「松下政経塾出身」「博士号（知識科学）取得」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：本人公式サイトで「松下政経塾第17期生」「北陸先端科学技術大学院大学 博士（知識科学）」と確認

### 前職

- 記載内容：「IHI勤務」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：本人公式サイトで「石川島播磨重工業(株)」と確認

### 石破政権での役職

- 記載内容：「石破政権（仮想）では経済産業副大臣兼内閣府副大臣」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：石破政権は実在し、大串氏は実際に第2次石破内閣で経済産業副大臣兼内閣府副大臣に就任
- 根拠・出典：首相官邸「第2次石破内閣副大臣名簿」で確認

### 統一教会問題

- 記載内容：「2022年に明るみに出た旧統一教会との関係」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaで該当記述を確認

### 政治資金収支

- 記載内容：「2021年分報告書では収入約2,000万円、支出約1,800万円」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な政治資金収支報告書の詳細データは脚注のPDFリンクでは確認困難

### 定量実績データ

- 記載内容：「提出法案数7件」「可決法案数7件」「国会発言回数150回」など
- 検証結果：△要確認
- 理由：これらの定量データは具体的な根拠が示されておらず、検証不可能

---

## 改善提案

### 修正が必要な箇所の一覧

1. **活動開始年の修正**：「2015-2025年の政治活動」→「2012-2025年の政治活動」
2. **石破政権の表記**：「石破政権（仮想）」→「石破政権」として実在する政権として記載
3. **在職年数の調整**：初当選が2012年であることに合わせて正確な年数に修正

### 追加確認が推奨される情報

1. **SNSフォロワー数**：具体的な数値の根拠を追加するか、「約」「推定」などの表記に変更
2. **政治資金データ**：具体的な収支額について、より信頼できる出典の追加
3. **定量実績**：法案提出数、発言回数などの具体的な根拠となるデータベースの明示
4. **政策レポート部分**：2025年の想定シナリオと実際の政治動向の区別をより明確化
5. **各種政策に関する発言**：国会会議録など、より具体的な出典の追加確認

## 全体的な評価

記事の大部分は正確な情報に基づいて作成されており、特に基本的な経歴や現在の役職については公式ソースと一致している。ただし、一部に推測や仮想シナリオが含まれているため、それらの区別をより明確にすることが推奨される。